

『ケータイ文芸部』

青豆

始めに

この作品はメーリングリストとWebの掲示板で活動する文芸部の様子を覗き見しつつ発表される作品も楽しめるメタ構造な作品となっております。

「ステーション文庫新人賞」という携帯小説が出て来た頃の公募賞に出した作品で、1行当たりの文字数は10文字程度、作品は21回に分割送信、一回あたりの字数も大きく制限される、という特徴を活かすべく考え一回ごとに完結した楽しみがあるように工夫しました。

つまり大変実験的な内容となっております。（そういうのが嫌いな方はここで読むのを止めるといづらかでも時間の無駄を省けます）

「メディアはメッセージ」とか形而上のものを玩んでいた青臭い頃（今でも大して成長してないが）の恥ずかしい作品であり、筆者の「ついのべ」の原点となる作品です。

4月 1日

かしこ@文芸部部长：

この度、文芸部では携帯のメーリングリストを使って、なるべく短い文芸を発表していこうと決まりました。

これなら、普段の会合に出てこない皆さんも参加できますよね。

コンセプトはコンパクトにインパクト。

携帯からの新形態小説。
ということでお願いします
記念すべき最初のお題は

「学園もの」
に決まりました。

作品は編集長の久留里さんの携帯のメールアドレスに送ってください。

送られてきた作品、質問、感想は随時サークルの掲示板にUPしてくれるらしいので。

締め切りは5月最後のミーティングまでにします。そこで最優秀作品賞と次回のお題をそうだんします。出席できないかった人にはそこでの決定を私の方から配信します。

にこたま@作品提出

『ぼやき』

誕生日が春休み中って損だよね。

かしこ@感想

ゴメン、3月21日だよね？今更だけど、何かプレゼント、送るね。

お祝いは、新学期になるけどいい？（^^；

>にこたま氏 『ぼやき』



QUKE@作品提出

僕は学内でもっともモデル男。ああ、男子校でさえなければなあ。



久留里@作品提出

『転校生』

転校してから3ヶ月、今日も私はパンを加えて走る。角で誰かにぶつかるまで、新しい学校には行けない。

QUKE@感想

ネタそのものはベタなのにでもこういうの好き。

>久留里氏 『転校生』

にこたま@作品提出

『校訓』

高校生にもなって

「一日一善」ってないよな。

轟静香@感想

高校にもいろいろあるんです。入試の国語の問題がカタカナだったって高校もありますから。

かしこ@雑談

うちもカタカナ問題ありましたよ。でも、イロハ順で書かされるから難しいの。

>轟静香氏

白@雑談

うちのイロハ問題は万葉仮名でした。>かしこ氏

座敷ワラ@雑談

ひょえー難しそう。

>白氏

華水月@作品提出

∴底辺校というのは数学の理論上もっとも大きくなります。∴

5月31日

かしこ@携帯文芸部部長

今回の最優秀作品賞は、
いろいろ揉めた挙句、お誕生日プレゼントの意味も含めて、にこたま氏の2作品ということになりました。
他の作品もソレナリの出来だったと思います。皆さん最初からよくがんばりました。

第2回のお題は、出席者で相談した結果、「官能」に決まりました。

31日が来るたびにお題を更新することになりましたので、大体ふた月に一つのお題が出されることになるでしょう。

新しいお題を提案したい方は、その月の最後のミーティング（文芸部のミーティングは毎週木曜日です）に出席してください。

また、長い作品は文芸本誌の方に掲載しますので、そちらも奮ってご応募ください。

白@作品提出

『Hは』

！と！とをつないだ形。



華水月@作品提出

『無題』

私、裸じゃない男の人に触
るの、はじめて…。

久留里@感想

うーん、よく分からない。

>華水月氏



にこたま@作品提出

『ショック』

「どうだー。先生のxxx

は一。」

「うーん、お兄ちゃんの方
が……………」



かしこ@作品提出

『癖』

「おしっこ我慢しながらす
るのが好き。」

座敷ワラ@感想

何を？ >かしこ氏

かしこ@雑談

聞くな!>座敷ワラ氏



久留里@作品提出

『書けないくらい』

XXXXXXXXXXXX。

白@雑談

牛の首って知ってる？

かしこ@盗作提出？

「牛の首なる怪談を聞きしが、あまりに恐しき話ゆえここには書けぬ。」

>？ 白さん

白@雑談

昔からあるネタだよな。



にこたま@作品提出

『赤いチャンチャンコ』

赤いチャンチャンコ着せましょか～って言われて返事しちゃうと、・・・・・・・・
還暦を祝われちゃうの。



青争@作品提出

『葬儀屋』

「お客様は仏様です。」

「普通は神様です、だろ」

「題名を見てください。」



久留里@作品提出

『学校の七不思議』

階段がいつの間にか増えてるって話、よくあるよね。
この前、百物語したら、怪談がいつの間にか、ひとつ増えてたんだ。

7月31日

かしこ@文芸部部长：

7月のお題は「怪談」でした。

最優秀作品賞は私と久留里さんの合作が選ばれたんですが・・・あまりにもくだらないので辞退させていただきます。

「6月31日」っていうのがネタだったんですが、意外と気付かれなくて、ちょっと困りました。

8月のお題は「恋愛」です。今回もひと月限定のお題ですが、夏休みなんだし時間ありますよね？

大丈夫ですよ？

いい作品を期待します。

8月のミーティングはあまりにも人が居ないので文芸エリアで細々とやっている予定です。寂しいのでたまには顔を出してください
夏休み中実家に帰省、実習で遠くにいる、などという人もケータイ文芸部の方は参加できますよね。

座敷ワラ@質問

世界一短い恋愛小説って
パターンあったよね。

白@作品提出？

あるところに男と女と、
もうひとりの男がいた
？>座敷ワラ氏

座敷ワラ@雑談

そう、それ！

「もうひとりの女がいた」でもOK。 >白



久留里@作品提出

『恋愛小説』

女「ただ好きなの。それじゃ駄目なの？」

男「それじゃ、小説にならないだろ・・・。」



槍杉P子@作品提出

『機種依存』

携帯って

「ハートマーク」出せない
のが不便だよね。



かしこ@作品提出

『時代』

あの恋文、返歌がくれな
かったので断ってしまいま
した。

Q U K E @ 作品提出 :

『母』

母は呟いた。

「失恋しちゃたわ。」

槍杉 P 子 @ 感想 :

深い！深いわあ。

> 「母」



華水月 @ 作品提出

「なんだっていいよ」

サビシイかサミシイかで悩む。そんな最も寂しき思い



白 @ 作品提出

『鱧』

キスって言う字は魚偏に喜ぶって書くんだよ。

かしこ @ 感想

どういう感想を言っているかわかりません。> 白

久留里 @ 雑談

あんなの、反応を返した時点で負けだよ。> かしこ

座敷ワラ @ 雑談

かしこさん の負け。

にこたま @ 雑談

好きな子をいじめるのって小学生の恋愛みたいです。

> 久留里氏 座敷ワラ氏

_____ 8月31日 _____

かしこ@部長或は管理人

ついに、お題「恋愛」は終わってしまいました。でもいいんです。ひと夏の恋は短いからこそ思い出に残るんです。

では、今回の総括です。個人的な見解になりますが官能に比べて恋愛の方が、いいのが多かったです。私はいじめられてしまいましたけどそれもいい思い出です。^^) /

次回からのテーマは「告白」に決まりました。このお題は9月と10月用のお題です。今年6月7月8月と、ひと月でお題を変えていましたが、本来は毎年8月と1月だけ、ひと月でお題が変わるシステムになっています。

お題「告白」

華水月@作品提出

実は私、ウスターソースなんです。

座敷ワラ@作品提出

実は私、バイなんです。

(素直にゲイよりも微妙)

久留里@感想

実は私、○○なんですネタ
何が一番インパクトだろう
白@雑談

トランプマンとか、・・・
古すぎるか・・・。

>久留里氏@感想

久留里@作品提出

実は私、国産じゃないんです。

座敷ワラ@作品提出

実は私、意味深してるんです。

(妊娠、よりも嫌。)

??@作品提出

実は私、この作品の作者なんです。

作者@作品提出

[ステーション文庫新人賞]

私がこれを書いたのは文芸部のBBSで、この賞について知ったからです。

だからこんな内容なんです

___ 10月31日 ___

かしこ@部長或は管理人

11月からのテーマは、
「童話」に決定しました。
これが今年最後のお題になります。昔ばなしや児童文学から童謡まで幅広く捉えてくださって構いません。今回のお題は「告白」でした。作品と言える作品が無いつていうか、少し悪ふざけ的な作品が多すぎた、というのが私の感想です。自分自身もそうだからなにも言えませんが。まあこういうのも、うちの特徴なので仕方ないと思っています。今回最優秀作品賞はナシ。最優秀作品賞について選考基準を少し厳しくすることにしました。その結果、該当ナシになることも多くなると思います。

座敷ワラ@作品提出

『ナシ』

どんぶらこ、どんぶらこ
と流れてきたナシをお婆さん
は拾わずに帰りました。
めでたし、めでたし。

久留里@変酋長

座敷ワラさん！

『ナシ』ってタイトルで作
品送くるの反則ですよ。

いくら、最優秀作品賞が
「ナシ」の時が多いからっ
て。

座敷ワラ@おわび

気付かれちゃいましたか。

ごめんなさい。

もうしません。



檜杉P子@作品提出

「青森県民のみ分かって」

http://mukasi_mukasi.harai

久留里@感想

ごめんわかんなかった。

>檜杉P子

白@雑談

青森では昔話の「めでた
しめでたし」のかわりに
「どっとはらい」っていう
んだよ。

かしこ@作品提出

昔々あるところに、おじい
さんとおばあさんとおばあ
さんが住んでいました。

にこたま@感想

そのネタ前にも出たよー。

>かしこ



華水月@作品提出

『童謡殺人』

十人まとめて殺されて
そして誰も居なくなった。

かしこ@感想

「そして誰もいなくなっ
た」って名作ですね。
どこかで「ミステリー」と
いうお題もやりましょう。



Q U K E @作品提出

『詐欺』

7匹の子ヤギが留守番をし
ているところに、

「俺だよ、俺。」と電話が
かかってきました。

___ 1 2 月 3 1 日 ___

かしこ@作者の代理人

ついに、この日が来てしまいましたね。今年ももう終わりです。

そして、この『ケータイ文芸部』の配信も、もう終わりなんです。

作者としても終わりにはしたくないらしんですけど21回分って決まっていることなので、本当にごめんなさい。

どうしても続きをしたいっていう文芸部のメンバーの為に話題はいつも通り出しておきますね。

次回の御題は「落語」にします。

超小話を作ってください。

オチを大切にね。

追伸 白氏へ

極楽の小話

「あの世～」

地獄の小話

「この世～」

は、知っているので書かないように。

メモ1 メンバー紹介

かしこ 部長

真面目に不真面目

久留里 編集長

良き相談相手。

にこたま

文芸のアイドル？♫

白（つくも）

雑学王らしい。

槍杉P子

理系でオタク？

轟静香（青争）

騒がしい人。

座敷ワラ

悪ふざけが好き

Q U K E

結構意味不明。

華水月（ハナミヅキ）

少し理知的？

作者

青村豆十郎 本人

メモ2 お題とボツネタ

4月 5月「学園」

『学園天国』

どいつも、こいつもあの席をただひとつねらっているんだよ。

「やっぱり、校長の椅子はいいよな。」by 教師

6月 「官能」

『来週からサザエさんは』

視聴者がじゃんけんに勝つと一枚ずつ脱いでくれるらしい。

7月 「怪談」

作者@作品提出

このSSSを書こうと思ってパソコンの前で考え込んでいたところに20cmのムカデが現れて足を咬んでいきました（実話）。

『でてきたら』

出てきたら、それは幽霊部員とは言わない。

8月 「恋愛」

『負け犬について』

人間にはいろんな価値観と生き方があるけど、イヌの場合は実際、負け扱いなんだろうな。

9月10月「告白」

『シリーズ』

私はすでに死んでいる。

11月12月「童話」

『おおきなカブ』

日枝会長はSBIの北尾さんをお呼びしました。

1月 「落語」

『ケータイ文芸部』

<http://p.booklog.jp/book/29018>

著者：青豆

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/aomura10106/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/29018>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/29018>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.